

地域MC協議会	構成消防本部	構成市町	1. 地域包括ケアシステムやACPIに関する議論の場、消防機関が参画していますか。	2. 地域MC協議会に、地域包括ケアシステム関係者が参画していますか。	3. 消防機関や地域包括ケアシステム関係者などが参画する多職種連携会議で、高齢者の救急搬送に係る課題の協議・情報共有を行っていますか。	4. 多職種連携会議を開催するにあたり、地域で課題があればご記入ください。	5. 関係機関が連携し情報共有を図るための取組や、高齢者の救急搬送に係る課題への取組状況をご記入ください。	6. その他、高齢者の救急搬送に係る課題についてご意見等ございましたら、以下にご記入ください。(自由記述)
桑員	桑名市	桑名市	①参画している	①参画している	①行っている	多職種連携会議をWEBで行っており、今後は実技研修を行いたい。	今年度は、WEB研修により消防本部長と救急救命士が参加して、救急の現状を説明した。グループワークでは、それぞれの職種間での課題を話し合い、目標へ向けた第一歩を踏み出したと考える。	高齢者の救急搬送が増加する中で、今後はACPやDNAR問題など県全体で取り組んで欲しい。
		木曾岬町	①参画している	①参画している				
		いなべ市	①参画している	④その他 地域包括ケアシステム関係者ではないが、健康推進課長が委員となっている。				
		東員町	①参画している	①参画している				
四日市	四日市市	四日市市	③未定	③未定	①行っている	施設からの救急搬送の場合、何を診療、治療してほしいのかが分からず、何に困って救急要請したか分からない事案がある。	四日市地域救急医療対策協議会、地域MC協議会で高齢者の救急搬送に係る課題等を話し合う場が設けられている。	高齢者搬送における諸課題(*)を改善するため、情報提供方法等を会議の場で説明し、消防機関及び医療機関が必要としている内容を共有する必要がある。また、医療機関受診後の帰宅について対応に苦慮することがある。 (*)・独居高齢者に対する関係者への連絡手段 ・同乗者の確保ができない場合がある ・情報収集が困難な場合がある
		菟野町	③未定	③未定				
		朝日町	③未定	③未定				
		川越町	③未定	③未定				
鈴鹿・亀山	鈴鹿市	鈴鹿市	①参画している	④その他	①行っている	特になし。	関係施設等や支援事業者が開催する勉強会等に参加し、高齢者等に係る救急搬送についてお互いの問題点を提議し議論するような場をいただけており、段階を経て、相互に理解を得ている。救急搬送は少しずつではあるがスムーズになっている。今後も積極的に勉強会等に参加し連携を強めるとともに高齢者に係る救急搬送について課題が出た際に情報共有し問題解決に向けて取り組んでいく。	いまだ、DNARIにかかる救急搬送に苦慮することがある。ACPの進展と消防サイドの活動指針を示すのが重要な課題だと思われる。
		亀山市	④その他	市役所等で地域包括ケアシステムやACPIに関する会議等があれば消防にも案内をして下さいと依頼をしている。				
津・久居	津市	津市	③未定	③未定	③未定	特になし	特になし	一人暮らしの高齢者の救急事案は、医療機関が必要と思われる情報を得られないことがある。
伊賀	伊賀市	伊賀市	①参画している	事務局として参画している。	③未定	①行っている	・高齢者救急搬送の増加。 ・救急搬送に必要な情報の不足(独居老人等の情報不足による現場滞在時間の延伸等) ・ACP、DNARの共通認識。 ・施設、主治医、医療機関、救急隊員との連携体制	・救急現場での情報収集ツールである救急医療情報キットの普及啓発や記載内容の更新。 ・市広報誌やケーブルTVなどを通して、救急車の適正利用や予防救急についての啓蒙。 ・高齢者福祉施設等における救急要請ガイドブックの運用に向けた検討。
		名張市	②参画する予定である	参画を希望している。	③未定			
松阪	松阪広域	松阪市	①参画している	①参画している	①行っている	令和3年9月16日に高齢者施設、医師会、消防機関が参加の「高齢者施設における救急対応マニュアル作成のためのガイドライン」活用のための勉強会が松阪市地域包括ケア推進会議運営幹事会主催で開催され、高齢者福祉施設への救急出動事案に関連する課題について情報共有を行いました。	松阪地域高齢者施設における救急対応マニュアル作成のためのガイドライン策定に当たり情報提供を行った。高齢者施設における救急医療情報提供シートを救急現場で活用している事案がわずかながらある。	DNAR関連の救急対応について、国からの明確な指針は示されておらず地域の実情に応じて各地域で方針を決めていくことが求められているものと認識しています。地域でのルール作りを進めていく必要性を感じておりますので、県からの助言を得ながら進めていければと考えております。
		多気町	①参画している	③未定				
		明和町	①参画している	③未定				
	紀勢広域	大台町	①参画している	③未定				
		大紀町	③未定	③未定				
三地域	伊勢市	伊勢市	③未定	③未定	③未定	令和3年5月18日付け三教医第10号により関係機関の連携について依頼されましたが、添付資料3の在宅医療・介護連携推進事業と在宅医療・救急連携における連携窓口共有リスト記載の事務局等に連絡したが、相手方への連携依頼の周知が不十分であるように思われた。	① 平成23年10月から救急搬送時に救急医療情報キットを活用している。 ② 施設から要請があった場合は、救急隊が施設職員に任意で看護・介護サマリーの提示を求め、救急搬送に活用している。  ①管内市町、医師会との連携 * 市町実施の「救急医療情報キット配布事業や、医師会実施の「県立志摩 病院在宅医療連携救急システム事業」と連携している。 ②啓発活動の実施 * 救急車の適正利用及び救急手当ての普及について車両広報の実施 * 救急医療週間に、救急車適正利用等に係る車両広報の実施 * 救急車に、適正利用を呼びかけたマグネットシートを掲示し、啓発活動の実施。 * 管内の事業所等に救急車適正利用のポスターを配布して、掲示を依頼し啓発活動を実施。  ①見守りシール(認知症高齢者の衣服にQRコードを添付し、身元等の早期 特定に繋げる)事業 ②一人暮らし高齢者住宅の調査時、家族等関係者の連絡先や病歴、かかりつけ医院等の確認を行う。 ③救急要請常習者情報をデータ蓄積し、出動時の情報確認に活用する。	
		玉城町	③未定	③未定				
		度会町	③未定	③未定				
	志摩市	南伊勢町(旧南勢町区域)	③未定	③未定				
		志摩市	③未定	③未定				
	鳥羽市	鳥羽市	②参画する予定である	③未定				
	東紀州 尾鷲地区	三重紀北	尾鷲市	③未定				③未定
紀北町			③未定	③未定				
紀南	熊野市	熊野市	③未定	③未定	②行う予定である			令和4年1月13日に紀南地域在宅医療介護連携推進会議において、高齢者の救急搬送についての意見交換を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により、延期となる。
		御浜町	③未定	③未定				
		紀宝町	③未定	③未定				